

平成26年度 しまね学力向上プロジェクト 「夢実現進学チャレンジセミナー」 実施要項

- 1 目的 医学部、法学部等の難関大学・学部に進学希望を持つ生徒に対して、進路目標を実現できるよう支援する。
- 2 主催 島根県教育委員会
- 3 共催 島根県健康福祉部医療政策課
- 4 協力 島根大学医学部・島根大学大学院法務研究科・島根県弁護士会・島根県高等学校進路指導協議会
- 5 主管 島根県教育庁教育指導課
- 6 期日 平成26年8月4日(月)～7日(木)(3泊4日)
- 7 会場 島根県立青少年の家(サン・レイク)(出雲市小境町1991-2 TEL 0853-69-1316)
- 8 対象 県内高等学校2年生で、医学部医学科や法学部等の難関大学・学部への進学希望を明確に持っている生徒。全県から理系30名、文系30名を上限とする。
- 9 参加費 生徒個人負担金(食費・シーツ代・保険料・教材費等) 1人 6,500円

10 日程・内容

8月4日(月)	10:30～11:00	受付	
	11:00～11:15	開講式	
	11:15～12:00	オリエンテーション	
	12:00～13:00	昼食	
	13:10～14:40	基調講演(講師 平田 オリザ 氏)	
	15:00～16:00	授業1(数学1時間目)(講師 県外教員)	
	16:10～17:10	授業2(英語1時間目)(講師 県外教員)	
	17:10～18:00	夕食	
	18:10～19:30	生徒交流会	
	19:30～21:00	入浴	
	21:00～22:00	自習	
	22:30	消灯・就寝	
8月5日(火)	9:00～10:00	授業3(英語2時間目)(講師 県外教員)	
	10:00～10:50	授業4(英語3時間目)(講師 県外教員)	10:00～12:00
	11:00～12:00	授業5(英語4時間目)(講師 県内教員)	教員対象授業セミナー(数学①)
	12:00～13:00	昼食	
	13:00～14:00	授業6(数学2時間目)(講師 県外教員)	13:00～15:00
	14:00～14:50	授業7(数学3時間目)(講師 県外教員)	教員対象授業セミナー(英語)
	15:00～16:00	授業8(数学4時間目)(講師 県内教員)	16:00～17:00
	16:00～17:00	自習	教員対象授業セミナー(数学②)
	17:00～19:00	夕食、入浴	
	19:00～22:00	自習	
	22:30	消灯・就寝	
8月6日(水)	【理系】		【文系】
	7:55～ 8:45	島根大学医学部へ移動	8:00～ 8:30 島根大学法務研究科へ移動
	8:50～16:45	講義・医療体験実習	9:00～12:00 文系プログラムⅠ
			12:00～12:30 サン・レイクへ移動(バス輸送)
	16:45～17:30	医学の扉(講話)	12:30～13:30 昼食
	17:45～19:00	夕食・懇談会	13:30～16:00 文系プログラムⅡ
	19:00～20:00	サン・レイクへ移動(バス輸送)	16:15～17:15 授業9(国語1時間目)
	20:00～21:00	入浴	(講師 県内教員)
	21:00～22:00	自習	17:15～19:00 夕食・入浴
	22:30	消灯・就寝	19:00～22:00 自習
			22:30 消灯・就寝
8月7日(木)	9:00～10:00	授業10(国語2時間目)(講師 県外教員)	
	10:00～10:50	授業11(国語3時間目)(講師 県外教員)	
	11:00～12:00	授業12(国語4時間目)(講師 県内教員)	
	12:00～12:45	昼食	
	12:45～13:45	閉講式	13:00～15:00
			教員対象授業セミナー(国語)

夢実現進学チャレンジセミナー 基調講演

講演 平成26年8月4日(月) 13:10~14:40
於 島根県立青少年の家(サン・レイク)

演題 「わかりあえないことから出発するコミュニケーション」

講師 劇作家・演出家 東京藝術大学・社会連携センター特任教授
平田オリザ氏

【主な経歴】



1962年 東京生まれ
1979年 16歳で高校休学して自転車による世界一周旅行を敢行
(1年半をかけて26ヶ国、約2万キロを走破)
1982年 大学1年時に初の戯曲執筆、後に劇団青年団を結成
1986年 国際基督教大学教養学部人文学科卒業
1995年 『東京ノート』で第39回岸田國土戯曲賞受賞
1998年 『月の岬』で第5回読売演劇大賞優秀演出家賞、最優秀作品賞受賞
2002年 2002年度中学2年教科書「現代の国語」(三省堂)に演劇学習教材
『対話劇を体験しよう』を書き下ろし
『上野動物園再々襲撃』で第9回読売演劇大賞優秀作品賞受賞
『芸術立国論』(集英社新書)でAICT評論家賞受賞
2003年 『その河をこえて、五月』が第2回朝日舞台芸術賞グランプリ受賞
2006年 モンブラン国際文化賞受賞
2008年 大阪大学で世界初の試みとなるロボット演劇『働く私』初演
2009年 鳩山由紀夫内閣官房参与就任(所信表明演説の執筆などに関わる 2011年8月退任)
『東京ノート』上演により第62回文化庁芸術祭優秀賞受賞
2011年 フランス国文化省よりレジオンドヌール勲章シュヴァリエ受勲。

【現職】

東京藝術大学・社会連携センター特任教授
大阪大学客員教授/四国学院大学客員教授・学長特別補佐
こまばアゴラ劇場芸術監督/劇団「青年団」主宰
(公財)舞台芸術財団演劇人会議理事長
日本劇作家協会副会長/日本演劇学会理事
(財)地域創造理事/東京芸術文化評議会評議員 ほか

【代表作品】

『東京ノート』、『ソウル市民』、『その河をこえて、五月』

【主な著書】

- ・『世界とわたりあうために』(徳間書店2014)
- ・『わかりあえないことから—コミュニケーションとは何か』(講談社現代文庫2012)
- ・『新しい広場をつくる—市民芸術概論概要』(岩波書店2013)
- ・『ニッポンには対話がない—学びとコミュニケーションの再生』(共著)(三省堂2008)
- ・『芸術立国論』(集英社新書2001)

その他、著作多数

日本の現代演劇界で、いま最も注目されている劇作家・演出家。大学在学中に劇団青年団を旗揚げし、現在支配人を務める「こまばアゴラ劇場」は青年団の本拠地であるとともに、海外の劇団との相互交流をはかる現代演劇の発信地ともなっています。近年は、フランスをはじめ韓国、中国、オーストラリア、アメリカ、アイルランド、カナダ、イラン、ベルギーなど外国との合同プロジェクトやワークショップを進め、公演実績、演劇に関わる受賞歴からも窺えるように海外での評価も極めて高く、その国際性は、同世代の演劇人の中では際立ったものとなっています。

また、2002年度以降中学校の国語教科書で、2011年度以降は小学校の国語教科書にも氏のワークショップの方法論に基づいた教材が採用されて、多くの子どもたちが演劇を創作する体験を行っています。他にも、障がい者とのワークショップ、自治体やNPOなどと連携した総合的な演劇教育プログラムの開発など、演劇を通して多角的な教育活動を展開していらっしゃいます。2006年度からは大阪大学コミュニケーションデザイン・センター教授に就任し、社会と演劇の接点を探るための研究にあたってこられました。

青春時代から異文化の風を肌で感じてこられた氏の講演を通して、現代日本人特にコミュニケーションの場をデザインするリーダーとなる高校生諸君に、その必要が声高に叫ばれているコミュニケーション能力とは、そもそも何なのか、なぜうまくコミュニケーションが取れないと言われてしまうのか、新たな視点で捉え直してほしいと思います。